

元気で

楽しんで

楽しんで

楽しんで

早

いものです。ついこの間まで、
ベビーベッドをジャングル・
ジムにして遊んでいるベイビ
ーちゃん、だと思っていたのに……。も
うこの四月からは、定期券を持って、一
人で学校に通う小学生ですものね。

毎日「いつてまいるまあーす」の元気

な声のあと、あなたが、くるりと後ろを
むいて歩きはじめるでしょう。お背中よ
りもひとまわりも大きな、ピカピカのラ
ンドセルがピヨピヨンはねていく姿を
見ると、ママの頬っぺはいつも、ふにや



のなか・ともよ

ジャーナリスト。中京大学コミュニケーション研究所客員教授。
東京生れ。

'77年から1年間コロンビア大学大学院に留学。

'79年より、通訳、リポーター、キャスターとしてNHKに出演。

'88年NHKソウル五輪放送の

現地メインキャスターを務める。

'92年よりテレビ東京の

「ワールド・ビジネスサテライト」メインキャスターとなる。

1女あり。

写真は、小学生のころ。右から2番めが野中さん。

ふにやに溶けてしまいそうです。

「気をつけて。元気でね。今日も一日、めいっぱい楽しんでいらっしやい」

心の中で、ママはいつも、そう呟きます。

地球というお星さまの上には、何十億人という人々が住んでいます。肌の色も瞳の色も全く違うように、あなた、という存在はたったの一人しかいないのです。あなたにしか出来ないことが、山もあり、他のお友だちとくらべることよりも、自分自身をじゆうぶんに生かすことを楽しんでくださいな。

そのためにも、まず健康であること。元気のエネルギーをいっぱい貯められる、いれものとしての肉体を、しっかり鍛えてね。元気なからだには、元気な心が生まれるから。

でもね、同時に、他の人の痛みや弱さをしっかりとわかってあげられる人でなければならぬと、ママは思っています。

そのためには、失敗をしたり、傷つくことが何よりの体験です。どうか、失敗することなんかおそれたりしないで下さいね。

六年間があつという間だったのだから、これから先は、もつともつとあつという

間に過ぎていくのでしようね。年長さんの時は「絶対に、牧場をもつて動物たちをいっぱい飼うんだ」と言っていたけれど、この頃は「ママみたいなテレビのお仕事もいいな」って日記に書いてありましたね。

どんなレディーになるのかしら。 たった一度の人生ですもの、やりたいな、と思ったことにはなんでもチャレンジしてごらん下さい。パパやママは、もちろん飲んで相談にのるけれど、決めるのは、あなた。

あなたが、自分の頭と身体で一生懸命考えて、やっぱりこれがやりたい、と判断したことならば、それが一番大事な決定です。

パパやママの意見や、社会の通念やら常識といったものたちは、やっぱりそれなりに、とても参考になることが多いとは思いますが、それらは、みいんな過去のものさし。

それに反することがあっても、自分がよく考えて決めたのなら、やっぱりやってみる価値はあると思います。

その上で、失敗したり傷ついたり。それは本当に自分の身になる、しっかりと学習できるよいチャンスでもありますか

ら、大丈夫。その時に、致命傷にならないこと。それだけは、心のどこかに止めおいて下さいな。当事者になって打ちのめされた時には、なかなか余裕なんてないけれど、人間、とにかく命あつてのものだねです。自分で自分の命を断つなんてことほど、愚かなことはありません。三日三晩死にたいと思いつめても、きつと四日目にはすこしお腹がすいてくるでしょう。

やっぱり美味しいものを頂いて、見たこともなかった景色や、映画や、人間たちについていっばい出会って、泣いたり笑ったり……。

そんな毎日を送れたら楽しいと思いませんか。

あなたが自分の意志をもって人生を謳歌するのは二十一世紀。

新幹線や高速道路なんて、夢物語だったわ、というひいばばと同じように、ママやパパには想像もつかないことが、あたりまえになっていく時代なのでしょうね。ステージは、地球。いえ、宇宙にまでも広がるかもしれません。

愛しい宝もののまりなちゃん。

どうぞ、あなたの人生です。元気で、思いきり、楽しんで、楽しんで……。